

錦秋の岩手県岩泉町での2泊3日の交流は楽しく、親戚のいる古里に行ったような、心安らぐ思いのする日々だった。妻と共に初めて参加したが、昭島と岩泉の「顔の見える交流」が、「友情の森」の植樹や懇親会などを通して、着実に進んでいることを実感した。

そして岩泉の町民、職員が「おもてなし」の心で応対して下さったことに感謝したい。岩泉町職員の武田君が幼い息子を連れて道の駅で見送ってくれたが、まさに孫子まで続く昭島・岩泉の友好交流でありたいと思った。

一昨年、私は釜石市、大槌・山田町、宮古市を訪れ、ささやかな復興支援をした。今回も龍泉洞まつりで山田町の牡蠣小屋を体験できた。今後も身近なところで支援をしたい。

うれいら商店街の岩泉舎で台風10号の豪雨被害の記録写真集を購入した際、撮影をした小松ひとみさんに会い、話を聴くことが出来た。来年のあきしま郷土芸能祭りで、岩泉の皆さんと再会できるのを楽しみにしている。